

寺報

No.639

令和2年11月

蓮華寺
發行

御聖訓

迷^{まよ}う時^{とき}をば凡^{ぼん}夫^ぶと名^なづけ、悟^{さと}る
時^{とき}をば佛^{ほとけ}と名^なづく。

『一生成佛鈔』



(解 説)

皆様は、毎日お仏壇の前で手を合わせる時にどんな事を思いながら拜んでいるでしょうか。

多くの人は「おじいちゃん、おばあちゃん、ご先祖様、どうか早く成仏して下さい。」

「諸天善神様、どうか私をお守り下さい。」と祈っていると思います。

これも、決して間違いではありません。しかし、これで終わってしまったのはだめなのです。

仏のお教えというのは、ただ単にお釈迦様がお説きになった言葉をいうのではありませんし、また供養や祈願をする為だけの教えでもありません。

一切衆生、誰もが仏に成る、仏に成れる為の教えなのです。

日蓮大聖人は、法華経・お題目を唱える事によって我々の心にひそむ『仏性』が目覚め、この身がそのまま仏に成れるのであるとお説きになりました。

つまり、我々に仏様と一体になろうという思いがなければ、ただ迷い続けて一生むなく終える事になるでしょう。

檀信徒研修会のお知らせ

十一月二十八日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂(お通夜の場合変更)

持参品：聖典(お経本)・事務所にて、数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目唱え、頑張つて参加して下さい。

お寺で、気持ちを含め、大きな声でお勤めをしましょう。

また、太鼓をたたいて、精神を統一してお題目を唱えてみて下さい。

*自分の懺悔(反省)・罪障消滅・または家内安全・当病平癒などの祈り、先祖や仏様の供養の為に拝みましよう。

②イス席です。

今年度最後の研修会です。

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』の祈祷を行っています。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・・・平成二十六年生れの女兒

◎五歳・・・平成二十八年生れの男児

◎三歳・・・平成三十年生れの女兒

となりますが、ご家庭の事情により「満年令」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願ひまして、日蓮宗のご祈祷をお受け下さい。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「干支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。



◎日蓮大聖人

聖語カレンダー《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58センチ横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、

下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日(日蓮宗で重要な日)も出ております。

一部・・・五〇〇円

◎令和三年度「暦」

一部・・・一五〇円

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

霊断と『霊』の字がありますが、霊を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。

なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千元です】

必ずご予約をお願いします。

☎776-5840

【盛運祈願会】に参拝し

お守りを戴きましよう

我々は先祖や過去の因縁により、知らず知らずの間に悪業の種をまき、思いも知れない悪運に見舞われる時があります。

このような状況から、常に我々の身を守ってくれますのが『俱生霊神符』(毎月のお守り)であり、更にその月の運勢が良くなりますようにと、ご本尊様に祈念する行事を【盛運祈願会】といいます。

蓮華寺檀信徒の皆様は、この為に毎月ついでにの午後一時からのこの行事に参拝し、より強いご守護を戴きますようにと祈り、そしてお守りを交換しています。しかし、中にはお守りのみを求め、【盛運祈願会】に参拝しない方もいます。

我々は、常にご本尊・日蓮大聖人・諸天善神への報恩感謝を忘れてはいけません。

どうか皆様は【盛運祈願会】には必ず参拝して、自ら法華経・お題目を唱え、そしてお守りを戴くようにしましょう。

《読者の質問箱》

【問】ご祈祷の時に使う、カチカチ音のするものと頭とかに当てる枕の様なものは何なのか説明して下さい。



【答】

『木剣』

確かに、寒耆百日間の荒行を成満した修法師（ご祈祷をする僧侶）が、ご祈祷の時、剣の形をした木の板に、数珠を打ち合わせてカチカチと妙音を響かせてい

ます。

この板は、木の剣と書いて『木剣』といっています。そして、一緒に唱えます祈祷肝文に合わせて、この木剣で様々の九字を切り、皆様の身体健全・除災得幸・因縁罪障消滅などの祈念をします。

木剣の由来については、古来から色々な伝承がありますので、ここでは荒行堂での木剣相承の概要を説明します。荒行堂では、最初の修行になります初行僧が、三十五日間の自行が終りますと、伝師上人から木剣の相承を受ける事になります。

新しい剣の形をした木の板に、秘伝に従いお題目・法華経の経文を細書し、書き終えたら御寶前に供えまして、全行僧の読経祈念の後に、伝師上人に開眼して戴きます。

その後、一月初旬から下旬の寒中に、毎日朝夕の一時間、屋外で先輩僧から祈祷肝文に合わせまして、木剣を打つ作法の指導を受けます。

先輩僧から、「腕のつけ根から剣だと思え！」と厳しく教えられ、腕を曲げないで木剣を振らされる為に、

腕の痛みはひどく想像を超える修行となります。もし、後に行われる木剣の試験に合格しなければ、夜中も寝る事を許されず、音を出さずに一人で練習しなければなりません。腕も足も腫れ上がつての練習の末、ようやく体得しました秘妙五段の木剣加持には、この百日間の苦行と信力がこもっているのです。なお、現在日蓮宗では、寒耆百日間の荒行を成満した修法師以外には、木剣の使用を許可していません。ともかく、有り難いお題目・法華経の経文を書いた木剣に、数珠を打ち合わせる事によって、不思議なお力が現れる事は間違いありません。

『撰経』

皆様のご祈祷を受けますと、修法師が胸に下げました巻物の様なもので、皆様の頭・肩・背中などを軽くたたきますが、これは『撰経』といっています。

『撰経』とは「撰法華経」を略したもので、「祈祷経」ともいわれ、日蓮大聖人が法華経二十八品の中より肝

要文を抜粋し、編集したものであります。

日蓮大聖人が佐渡ご流罪中、法華経に帰依しました最蓮坊日浄上人の要請に応じまして、お与えになったものといわれています。

日蓮宗の大荒行堂では、寒耆百日間の修行中、三十五日間の自行が過ぎますと、書写の行に入ります。その時、序列順に読経堂で、この『撰経』を書写するのです。

火の気のない広い堂内で、立会の先輩僧が見守る中、十時間に及ぶこの書写中には、手洗いに立つ事さえも許されません。

そして、全員の書写が終わりますと、それを御寶前に供えまして、伝師上人より開眼して戴き、その後指定業者に託し表装をして、金欄の撰経袋に入れ、修法師の胸に下げます。

ご祈祷で木剣を振つた後、必ずこの『撰経』を両手に捧げ、日蓮大聖人ご選述の「撰経頂戴文」を誦して檀信徒に頂経させますが、これは大聖人直伝の『撰経』のお力で、皆様の因縁罪障を消滅し、また信仰心を倍増させる為に行うのです。

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致します。

【三席】から【特席】にも上がれます。

詳細は事務所まで!

『提灯』の募集!

当山で「お正月」「鬼子母神大祭」「御会式」の際に掲揚します『提灯』(トローラー)を募集致します。作成価格は八千円で年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする聖徒タイムズ・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『靈神符』を持ちましょう!

最近の思いもよらぬ事故が多発し、特に子供さんが悲惨な事故に会われています。

皆様も「私は大丈夫」という考えはお止めになり、素直に毎月のお守り【靈神符】をお持ちになる様にお願ひします。



十一月の行事

一 日(日) 盛運祈願会 午後一時より

- ・お守り【靈神符】の交換の日です。
- ・必ずお勤めに参拝し、お守りを戴きましよう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(金) 鬼子母神小祭 朝のお勤め中

十三日(金) 日蓮大聖人の御命日 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・檀信徒の皆様は日蓮大聖人様の御報恩を忘れずに参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましよう。
- ・この日は、当山の自家・京都大本山「妙顕寺」の開基『日像上人』の祥月命日の御回向もします。

十七日(火) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

二十八日(土) 檀信徒研修会(唱題行) 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

◎今月は奉仕活動を行います行事はありません。どうか毎月の『盛運祈願会』『十三日のお勤め』『檀信徒研修会』に積極的に参加して下さい。

- ◎奉仕部長・山田兼補
- ◎伝道部長・小野正春
- ◎教宣部長・杉淵昌三

☆『十三日のお勤め』

に参拝しましよう

毎月十三日午後一時より

◎『十三日のお勤め』は、日蓮大聖人の大事な月ご命日の日です。

皆様も、日蓮大聖人への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目を唱えるようお願い致します。

◎『十三日のお勤め』のお経練習用に「カセットテープ・CD・お経本」を販売しています。

日常の中に仏世界

大黒祭

十二月六日（日）

昼十二時半より



（大黒様の行水・祈願・福引あり）

※行水と祈願の申込みは十一月十三日から受付ます。

※法要終了後、空くじなしの福引がありますので、ご家族
ご友人をお誘いの上、奮ってご参拝下さい。

※大黒様をお持ちでない方もご自由にお参り下さい。

※新たに柵入りの大黒様をお求めになりたい方は、お早目に
事務所までお申込み下さい。